

1 単元 したことをじゅんじょよくかこう「月見だんごの作り方を知らせよう」

2 指導観

- 本学級の子ども達は、1年生2名（A、B児）、3年生2名（C、D児）5年生1名（E児）、6年生1名（F児）の計6名である。学年も違い、国語的能力も違うので、個別に学習を進めることが多いが、野菜を育てたことや、野菜の調理をしたことなど、共通の題材を決めて書く経験をしてくれている。これまでに、A児はひらがなの読み書きができるようになり、B児はひらがなを5文字読み書きできるようになり、C児は2年生程度の漢字の読み書きができるようになり、D児1年生程度の漢字の読み書きができるようになり、E児は4年生程度の漢字の読み書きができるようになり、F児は1年生の半分程度の漢字の読み書きができるようになった。そこで、経験したことの順序を考えながら文を組み立て、B児はなぞり書きできるように、A児、F児は助詞に気をつけながら視写できるようにしたい。C、D、E児は、経験したことの順序を考えて書くことができるようにしたい。
- 本単元は、特別支援学校学習指導要領に示された「見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えること。」「見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くこと。」に関わり、「書く」を中心に設定するものである。まず、生活単元で経験した月見団子を、家でも作れるようにしようと提案することで、作り方を書こうという意欲をもたせることができる。また、分かりやすく書くために、接続語を使って順序よく書くこと、助詞を正しく使うことにつなぐことができる。さらに、書いた文を発表し合い、よさを見つけ合うことで、自分なりに表現することへの自信をもたせることができると思う。
- 本単元の指導にあたっては、作り方を書くことを意識しながら、生活単元でお月見団子作りをする。そして、お月見団子を作ったことを順序よく作文に書けるようにしたい。
尚、本時指導にあたっては、順序を表す言葉を使って、月見団子の作り方を書くことができるようにする。その際、書くことが思い浮かばなかったり、作り方の順序を想起できなかったり、どう言葉で表現していいか分からなかったりして、文を書くときに困ることが予想される。そこで、写真や言葉カード、文カードを並び替え、したことの順序を思い出させる。そして、接続語を使いながら、お月見団子の作り方を分かりやすく書くことができるようにする。順序を考えながら写真や文カードを並び替え、B児はなぞり書きを、A、F児は助詞に気をつけながら視写させる。C、D、E児は、写真や言葉カードを手がかりにしなが、順序を考えて書かせる。さらに、書いたことを声に出して読ませ、発表する練習をさせる。最後に、書いたこと、発表練習をしたことの感想を出し合い、達成感を味わわせる。

3 目標

- 月見団子在家でも作ることに関心をもち、調理したことの順序を意欲的に話したり、聞いたり、書いたりしようとする態度を育てる。
- 「はじめに」「つぎに」などの順序を表す言葉や助詞に着目し、手順を示す写真や言葉カード、文カードと照応させながら順序よく書くことができる。
- 姿勢や声の大きさに注意して発表したり、話す人の方を見て聞いたりすることができる。

4 本単元の学習活動（生活単元2時間、国語1時間）

- 1 お月見団子を作る。 _____ 2
- 2 お月見団子を作ったことを書く。 _____ 1
 - (1) お月見団子の作り方を書く。 ①本時

5 本時 平成30年9月20日(金) 第3校時 於こすもす2教室

6 主眼

- A、D、F児は、写真や文カードを参考にしながら、順序を表す言葉を使って月見団子の作り方を視写することができる。
- B児は、写真や文カードを参考にしながら、順序を表す言葉を使って月見団子の作り方をなぞり書きすることができる。
- C、E児は、写真や言葉カード、文カードを参考にし、文末表現に気を付けて、順序を表す言葉を使って月見団子の作り方を書くことができる。

7 本時の学習活動(1/1)

段階	学習活動	具体的な手立て※評価
説明	<p>1 本時学習のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真から、月見団子を作ったことや、家で作れるようにすることを振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">つきみだんごのつくりかたをじゅんばんにかこう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「白玉粉のこね方」の写真と言葉を順番に並び替え、つなぐ言葉カードを選ぶ。 ・「みずをいれる」「こねる」「まとめる」 ・「はじめに」「つぎに」「さいごに」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">つなぐことばをつかうと、わかりやすい。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">【予習】</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 月見団子作りの写真を見ておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">【困難度査定】</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 書くことが思い浮かばない、したことの順序が分からない、したことを言葉で表現することが難しい、助詞や接続語の使い方が正しくできないことが予想される。
理解確認	<p>2 月見団子の作り方を順序よく書く方法を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「団子の丸め方」を例に、写真、つなぐ言葉カード、文カードを並び替え、活動の手順を確認する。 ・「3つにわけて、のぼします。」 ・「おなじおおきさにちぎります。」 ・「てのひらでまるめます。」 ・「まんなかをおしてたいらにします。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真カードを並べ順序を明確にし、合う言葉、文カードを並べさせる。 <p>※ A、D、F児は、写真や文カードを参考にしながら、順序よく月見団子の作り方を視写することができる。</p>
理解深化	<p>3 ホワイトボードに並べたカードを参考にしながら、月見団子の作り方をなぞり書きしたり、視写したり、作文に書いたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のホワイトボードで、写真、つなぐ言葉カード、文カードを月見団子作りに合うように並び替える。 ○ 助詞や文末の表現「ます」に気を付けて、ノートに作り方を書く。 ○ 書き終わったら、声に出して読み、発表の練習をする。 	<p>※ B児は、写真や文カードを参考にしながら、順序よく月見団子の作り方をなぞり書きすることができる。</p> <p>※ C、E児は、写真や言葉カード、文カードを参考にしながら、順序よく月見団子の作り方を書くことができる。</p>
自己評価	<p>4 本時学習を振り返り、次時の課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容を振り返る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・つなぐ言葉が分かった。 ・順序よく書くことができた。 ・先生に聞いてもらって、発表練習ができた。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 頑張ったことを褒め合い、自信をもたせる。